



＜希望の瞬間＞を刻印する。

映画「首相官邸の前で」DVD化記念 上映会&トークイベント

小熊英二 × 五野井郁夫

2017年4月12日(水) 19:00～
LOFT9 Shibuya (渋谷・円山町)
OPEN18:00/START19:00

予約¥1200 / 当日¥1500(税込)

★要ドリンクオーダー

[お問合せ] LOFT9 Shibuya (03-5784-1239)

<http://www.loft-prj.co.jp/loft9/>

社会学者・小熊英二

初の映像作品「首相官邸の前で」
待望のDVD化!

報道から事実上黙殺された、日本における20万人を超す人々による脱原発の抗議運動を映画化した同作品は、国内外各地で賞賛され、2016年<日本映画奨励賞>を受賞。

今年3月3日、本DVDと関連の対談(高橋源一郎氏)、インタビュー、観客とのやりとり、日記、論文、海外での講演などをまとめた書籍『首相官邸の前で』(集英社インターナショナル)の刊行も記念し、都内では久しぶりの全編上映に加え、監督とゲストの対談を開催。ぜひお見逃しなく!!



撮影:生津隆彦

小熊英二

1962年東京生まれ。出版社勤務を経て、慶應義塾大学総合政策学部教授。福島原発事故後、積極的に脱原発運動にかかわり、メディア上での発言も多い。2012年の著作『社会を変えるには』で新書大賞を受賞。他の著作に『単一民族神話の起源』(サントリー学芸賞受賞)、『<民主>と<愛国>』(大仏次郎論壇賞、毎日出版文化賞)、『1968』(角川財団学芸賞)など。映像作品の監督は今回が初めてだが、脱原発運動のなかで得ていた信用のために、多くの映像提供などの協力を得ることができた。



五野井郁夫

1979年東京生まれ。政治学者/国際政治学者。日本学術振興会特別研究員、立教大学法学部助教を経て、高千穂大学経営学部教授。民主主義論研究者として「立憲デモクラシーの会」呼びかけ人、朝日新聞WEBRONZAレギュラー執筆者(政治・国際)、『現代用語の基礎知識』の「政治」分野の選定と執筆も務める。サントリー文化財団「震災後の日本にかんする研究会」では、国民感情の分析を担当した。著作に『リベラル再起動のために』(毎日新聞出版)など。『3.11 心に刻んで2017』(岩波書店)にも寄稿。

主催:首都圏反原発連合- Metropolitan Coalition Against Nukes - www.coalitionagainstnukes.jp/

協賛:集英社インターナショナル <http://www.shueisha-int.co.jp/>